

## そろそろサヨナラ 冬の渡り鳥 ジョウビタキ

立春が過ぎた2月中旬の朝、校庭のフェンスの上に、一羽のスズメのような鳥が止まっていました。スズメだと数羽から十数羽の群れでいることが多いのですが、単独でいるのは珍しいかと、目を凝らすと、両方の翼の付け根に「白い斑点」が目印のジョウビタキの雌（めす）でした。令和2年～3年の冬期、清二中の敷地では初めて出会いました。（もしかしたら来ていたかも…）

秋冬（10月～3月）に大陸から日本にやってくる冬鳥で、桜の咲く前には戻るので、そろそろ旅支度をしている頃です。見ていると、たびたび、ぴょこっと、お辞儀をして、尾っぽを上下にふりふりするのが可愛いです。

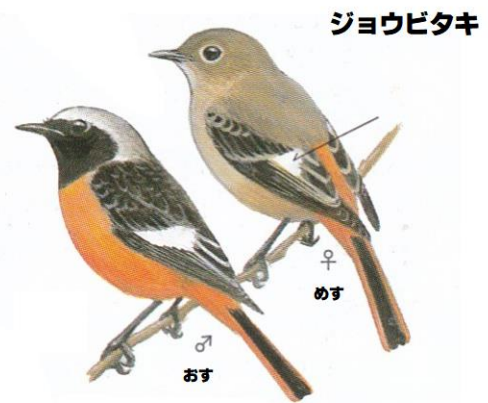


※冬鳥：冬を日本で過ごし、春夏の繁殖時期を大陸の北部で過ごす渡り鳥

※夏鳥：夏の繁殖時期を日本で過ごし、秋冬東南アジアで越冬する渡り鳥

### ●ジョウビタキ スズメ目ヒタキ科（図鑑によっては、ツグミ科 ジョウビタキ属としているものもある）

《撮影日/場所：R3,2,16 清瀬二中》 写真は雌です。



野鳥観察ハンディ図鑑 新 山野の鳥 日本野鳥の会

オスはオレンジ色のお腹に、トレードマークのグレーの帽子が目立つので、わかりやすいのですが、雌は地味なので、よく見ないと、スズメと見間違えてしまいます。雄も雌も翼の「白い斑点」があるのが、見た目の特徴です。縄張り意識の強い鳥なので、単独で生活をしています。

鳴き声（地鳴き）は、「ヒッ、ヒッ…、ヒッ、ヒッ」と澄んだ声で、時々「カッカッ」とも鳴きます。春夏の繁殖期は、中国北部や朝鮮半島で過ごして、秋冬を日本で過ごす冬鳥（渡り鳥）ですので、繁殖時期に「ピー、ピチョ、ピロピロ…」と鳴く、可愛らしい鳴き声（さえずり）は残念ですが、日本では聞けません。

●ジョウビタキの「おす」や「さえずり」と「地鳴き」を知りたくなったら  
下記のサイトを開いてみよう!

【関連 HP】 Canon Bird Branch Project 生物多様性の取り組み HP

「PHOTO GALLERY 野鳥写真図鑑」のページ 【ジョウビタキ】

<https://global.canon/ja/environment/bird-branch/photo-gallery/jobitaki/index.html>

